



英
國
の

自
然

杉 野 目 浩

私は、有機化学を専攻する者で、自然の保護についての論文をものすることは到底できないし、原稿をおひき受けしたものの当惑した。

しかし、時に、いわゆる観光地といわれるところなどもふくめて、北海道の美しい湖水や山岳などと接触する機会をもち、同時に、かつては近寄りがたかった原始の姿をとどめる地域が、産業に対する必要性から、または観光開発という名のもとに、急速に変貌してゆくのを見聞きしている。

先年、イギリスに機会があつて、やや長期間住んだが、その間、イギリスの人々の気のおけない交友を通じてその考え方の一端に触れたり、また旅行では、いわゆる「ザブリテイツシュアイルズ」の美しい自然の風光のこれも一端と、その自然に対する人々の考え方といったものに触れるたびに、大変に感心することが多かった。そして、日本の状態とあれこれ比較してみるこ

ともあつた。

このような感想などは、とりとめもなくまた一方、正確に表現することが容易でないものも多い。しかし、若干の感想めいたことで、貴重な紙面をふさぐことをお許しねがいたいと思う。

私の感慨というのを、やや乱暴に端的にいうと、イギリスの人達にとっては、自然の保護運動といったことはほとんど必要がなさそうである。しかるに日本では、必要だろうということである。

一つの例であるが、日本では、たとえある地方が一旦、陸の秘境とでもいったタートルでジャーナリズムなどで大きく紹介されると、たちまちにしてわれもわれもと人々が押しよせ、はては大がかりな登山大会、探検隊までが送り込まれ、やがて観光施設ができ急激にスポイルされて、やがてブームは終わる。

このような事態は、イギリスではとても考えることができないようである。

§

イギリスの北半を占める、スコットランドの西に位置するヘブリス諸島の一つにスカイ島がある。ここは、スコットランドのヘザーにおおわれた起伏する荒地と美しい湖水の多い、いわゆるハイランド地方とともに、その特異なきりたった怪異な岩峯

と、高緯度地方に特有の景観をもつことと有名である。もちろん、夏の休暇を過ごすなどには、最適の美しい島である。

私はある夏、イングランド西北部のレークデイストリクトと呼ばれる湖水地方からスコットランドのエジンバラ、インバネスをへてスコットランドの北西海岸を訪れた際、このスカイ島を訪れる機会をもった。

スコットランドの西海岸のカイルオプロカルシュという奇妙なゲール名の小港から、小さなフェリーポートで、すぐ目と鼻の先にある島にわたった。

ここからバスが、島の北海岸のりっぱに舗装された道走っていた。左手は鋭く海からたち上った三、〇〇〇フィートほどのスカイの山々がつづく。プロードフォードという町をへ、*Stigabum* という島の北西海岸と南海岸への中継地につく。ここからはステーションワゴンしか乗物はない。

運転手は愉快な男で、絶えず冗談を飛ばして同乗している数人のイギリス人を大笑いさせているのだが、ものすごいあまりのため、私どもにはきれぎれにしか意味が通じないのだった。車は有名なクリンヒルズの山すそをまわって、ロッククライミングの根拠地である南海岸のグレンブリットル（グレンは谷を意味する）に向っているのであった。

クリリンの山々は霧の中に陰鬱に見えかくれて、その岩肌は黒く見える。その群をなす岩峯のすそは、広大なカールを想起させる荒地がひろがって、かつてここを領有していたスコットランドのクラン（氏族）の間の、悲惨な戦の歴史が秘められている荒涼としたそのあたりは、多数のハイランド特有の頭の黒い羊が平和に草をはんでいた。

やがてグレンブリットルに着く。この地は、スカイの中でも特に著名なクリリンの山々への根拠地であり、ヒマラヤで名をはせた英国の高山登山家達に親しまれた歴史的なところである。

私は、ホテルの一つもあるものと、たかくくつてきたのだった。しかし小さなユースホステルと、数軒のコテージしか見当らない。このコテージは、イギリス国内に普通の宿泊施設である、いわゆるベッドアンドブレックファーストだったが、これも全部予約済みとあつて私はいささかあわてた。しかし幸いに親切な運転手の世話で、ロンドンからの客が、一部屋を折りよくキャンセルしてきたのに落ちつくことができた。ここでももちろん、イギリスのどんな片田舎を旅行しても見出すことのできる清潔なベッドと、親切な歓待を見出し私どもは快よかった。

われわれがいささか意外に思ったのは、この素晴らしい海と美しい山々を控え、しかも完璧に整った道路によって、イギリス本島から容易に到達することができる土地が、かくも静かなことであつた。クリリンヒルは、ブラックマウンテンと呼ばれ、英国の人々に親しく知られてからすでに長い歴史をもっているのである。折り悪しくフィルムをきらしたが、土産物を売る店一つ見出せなく、宿のおばさんにわけてもらいながら、これはとても日本では考えられないことであると、つくづく感じたことであつた。

その海岸一帯は、ちょうど高山のお花島のごとき草原でうずめられ、海浜から背後の岩峯へと高まって、広大な闊谷の一方が青い海であるのを想像するといふ風景である。私どもは忙がしい旅で、その日はスコットランドの北西の海岸・アキルタビュエから、スコットランドの荒野をバス、汽車、車とのりついで疲れていた。その海浜の緑を一瞬燃えあがらせて、夕陽が沈んでいったその美しい夕暮れを私は忘れることができない。

これまで多数の人々によって、英国の人々の気質などが紹介されている。こういうことは、とても私などの手におえるものではないが、たとえば、日曜、休日ともなれば

ば行楽地という行楽地は、程度の差こそあれ、すべて人の群であふれ、また町中ではこれまた買物客その他で身動きがとれず、乗物は満員という日本の現状はわれわれの活動性を示すものであるが、イギリスと非常に異なるもので、イギリスの人達には理解の困難なものであるらしい。

これももちろん、英国よりもわずかに広い国土に二倍以上の人間が住み、その面積の八〇パーセントが山地という日本の国土がその一半の原因であることは疑いないがそれ以外の因子もあろう。

たとえば、日曜日とはイングランドでは極端にいえば、富裕なものも誰も彼もひげもそらず、ボロを着て庭いじりに精をだす日であり、サンデーペーパーをゆつくりと読んで、静かにお茶に寛ぎ、休息して明日の活動力を得る日である。だから商店はすべて休み、私の住んだケムブリッジなども日曜日は、町一番の通りであるセントアンドリュースストリートも、ほとんど人通りは絶え、閑散と淋しい。公園も犬をつれて静かに散歩する人がちらほらするだけで、短く刈り込まれ、手入れのよくゆきとどいた緑の芝生が一段と美しい。日曜日というのは、一見すべてのアクティビティが失われたいように見える。

このように静かな雰囲気は、私には特に

印象の深いものであった。このようなことは、性格と習慣の問題であるが、少なくとも英国の人々が、雷同的行為を嫌い、個性的な行動を高く評価することを私は強く感じた。

北海道より十度ほど高緯度にあるイギリスは、ここと同様に春は美しい。私の住んだ大学町には、ケムという小さな川が流れた。有名なカレッジの大部分がその川を背に並んでいる。このケム川に面したカレッジの裏手、何百年にわたって手入れされてきた美しい芝生のあるあたりは、二月の声をきくとまずスノードロップの白い花が咲き、

三月となると、何時の間にかそれが一面のクロッカスの紫にそまり、やがて春酎となると、それが黄色のダフオディル（水仙）に移り変わる。陰鬱な冬の日々から人々は

ようやく解放され、春の陽光がふりそぐ中に、それはこよなく美しい季節である。

このいわば路傍の花々が、絶対に折りとられ、踏みつけられることがないという安心感は、単なる快よき以上に、安定したりつばな社会を背後に感じさせる。ケム川は決して清流などとはいえないが、稀に魚を釣る老人などを見かけることがあった。私はたまたま釣り人が、釣った魚を全部ふたたび川に放っているのを見かけ、ずいぶんと余裕のある釣り人もこの国にはいるものと感心したものである。

§

思いつくままに書いてきたこうした習慣とかマナーは、もちろん大変に長くかかってできあがってきたものであり、その背景には、国の歴史、文化、富みの程度、国民

性、人口といったあらゆる複雑な要素がある。いろいろと考えると、自然の保護などは容易ではない。そこには、テレビジョンやカーの質を改善し、その生産をトップレベルにもってゆくのは異なつた難しさであろう。

われわれの国土は、湖水、清流あり、火山があり、森林がある。このような変化に富んだ自然景観は、イギリスに明らかに優るともおとらないものである。イングリランドでもっとも美しいといわれる、イギリスの誇る湖水地方にしろ、一本の道路、一つの村落にいたるまで、すべて整然と調和がとれているが、摩周湖や支笏湖の珠玉のような美しさを見慣れた眼にとっては、巨大な沼湖の色彩を帯び、イギリスの人にははなはだ申しわけないが、地味な感はずぬが

れない。

私には、このようにすばらしい日本の国土にわれわれは慣れすぎて、その真価を評価できなくなっているのではないかと思われるのである。そしてこのような日本の自然が、いま保護されなければ、とりかえしのつかないことになるのは明らかである。若い、北海道のように発展の途上にある土地では特にそうであろう。

われわれもイギリスの人達のように、自然を觀賞するにしても、開発するにしても余裕のある大人の行動をとりたいたいものである。それがすべての人に滲透したとき、われわれの生活というものも、ずっと快いものになるに違いない。

（北大理学部助教）